

2024

1 JAN.

TACHIKAWA HOSPITAL



NEWS NO. 78

2▶

新年のご挨拶

4▶

各診療科部長
ご挨拶・紹介

15▶

懇話会報告

立川病院 だより



Greeting



国家公務員共済組合連合会
立川病院 病院長

片井 均

ご挨拶

新年おめでとうございます。謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。連携医療機関および福祉施設の先生方のご厚情とご支援のもと立川病院はつつがなく新年を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

昨秋以降、新型コロナ入院患者は減少に向かい、病院の体制をコロナ禍前に少しずつ戻しています。ロシアのウクライナ侵攻、円安の継続による物価高は医療収支を急激に圧迫しています。2024年度は「医師の働き方改革」の新制度開始、診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬のトリプル改定が行われ「医療界」にとって大変重要な年となります。「医師の働き方改革」を継続的に進めていくには医療の効率化が必要ですが、患者さんに負の影響を与えることは許されません。医師の健康の確保と地域医療の両立は簡単ではありません。

首相が賃上げを唱えるなか、国が決める公定価格で運営している医療機関や介護をはじめとする福祉関係の従事者は取り残されています。人材流出を防ぎ、良質な人材を確保するには賃上げが必須です。厚生労働省と財務省は看護師や看護助手など医療従事者の賃上げを促すため、診療報酬の一部を2024年度改定で引き上げる調整に入ったとの情報がありました。診療報酬本体をマイナス改定とすることが適当との提言もあり、先行き不透明です。

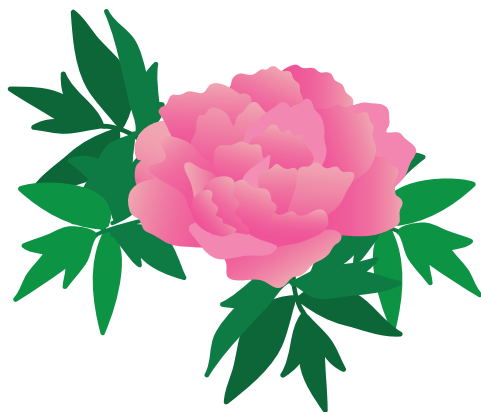
2025年に向けた地域医療構想における当院の位置づけは「高度急性期」であることが東京都地域医療構想調整会議で合意されました。地域医療支援病院のほか、新たに制度化された「紹介受診重点医療機関」にも認定されました。より急性期病院としての性格を追求していきます。

多くの高齢者が複数の病を患い、複数の専門医の医療や病・病連携、病・診連携により連続したケアを必要としている現実があるなかで、ケアを実現するためには医療連携はますます重要となります。地域医療支援病院として地域完結型医療の要となり、連携医療機関および福祉施設の先生方に頼

りにされる急性期病院になる試みのひとつとして、「患者支援センター」を昨年12月に開設しました。地域医療連携センター、入退院センター、チーム医療を形成する各部門などがワン・フロアに集まり、医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床心理士、医師事務作業補助者、メディカルソーシャルワーカーなどが常駐します。患者さんの利便性の向上と連携医療機関および福祉施設の先生方とより迅速により緊密な対応を行うことを目指しています。

連携医療機関および福祉施設そして患者さん、地域住民の方々から信頼を得るために、「単なる総合病院でなく、特徴ある役割も併せ持つ病院」すなわち「立川病院ブランドの創生」の実現に向け本年も歩んでいきます。立川病院の信条は3つのP（Patient centered care、Partnership、Professionalism）ですが、安心・安全で最良の医療を尽くし、結果に責任を持ち地域住民の方々が誇りと思う病院になるべく、職員ひとりひとりは4つめのPとしてのPassionそして5つめのPとしてPrideをもって目標を目指し行動していきます。

年頭にあたり皆様のご健勝とご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



各診療科部長 ご挨拶・紹介

循環器内科

新年おめでとうございます。

連携医の先生方には平素よりお世話になり、御礼申し上げます。

当科は東京都CCUネットワーク加盟施設として急性心筋梗塞、心不全、不整脈、弁膜症、心筋症、先天性心疾患、大動脈瘤などの心血管系診療、また入院心臓リハビリテーション、心疾患合併患者さんの周術期管理、がん治療関連心機能障害の診療を行っています。

高齢化に伴い増加傾向である心不全は早期診断、介入治療が進行・重症化を避けるために重要とされます。先生方の患者さんで労作性の息切れ、NT-pBNP高値などありましたら、ぜひご紹介いただければと思います。

丁寧な診療を心がけ、さらなる飛躍に向けて一層努力してまいりますので本年もどうぞよろしくお願いいたします。

循環器内科部長 影山 智己

呼吸器内科

新年明けましておめでとうございます。連携医の先生方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年は多くの患者さんをご紹介いただき誠にありがとうございました。

当科は常勤医6名（溝部、光石、柿本、福井、船津、黄）と防衛医科大学校からの内科専攻医1名（原田）の体制で診療を行っています。急性期病院としての地域医療貢献と若手の人材育成をモットーとして、

肺癌・呼吸器感染症・びまん性肺疾患・COPD・気管支喘息など呼吸器疾患全般の診療を行っています。院内では呼吸器外科や放射線診断科、放射線治療科等の関連各科と協力し、最新の医療を提供できるよう心がけています。

先生方からの依頼をできる限り速やかに応需し、地域の急性期医療に貢献できるよう努力して参りますので、本年もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

呼吸器内科部長 黄 英文



消化器内科

明けましておめでとうございます。連携医の先生方には平素より大変お世話になり、また多くの患者さんをご紹介いただき心より感謝申し上げます。

消化器内科は、柏崎一男、金子光太郎、古宮憲一、山根剛、鍛冶場寛、勝海愛にて食道、胃、十二指腸、大腸、肝臓、膵臓、胆道など消化器疾患全般の診療を行っております。上下部消化管内視鏡検査、治療とともに胆道系疾患は増加傾向にあり内視鏡的逆行性膵胆管造影検査下総胆管結石除去、内視鏡的ステント留置術などの治療にも取り組んでおります。ウイルス肝炎の経口薬による治療、他の肝疾患や肝癌の治療も行っております。外科をはじめ他科との密な連携も心がけております。

今後も先生方とともにより良き医療を目指して努力していきたいと思っております。本年も宜しくよろしくお願い申し上げます。

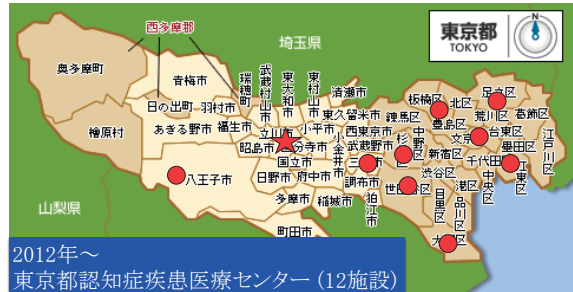
消化器内科部長 金子 光太郎

脳神経内科

あけましておめでとうございます。脳神経内科では認知症、パーキンソン病、神経免疫疾患を中心に診療に当たっておりますが、抗認知症薬であるレカネマブの登場により、大きな変革の年になると考えています。髄液検査によるβアミロイド比やリン酸化タウ蛋白の測定にも対応していますのでお気軽にご紹介ください。神経内科専門医である服部と久住呂に加えて、後期研修医の村松医師が引き続き勤務してくれることになりました。また、昨年度より脳神経外科部長に杉山一郎先生が着任され、てんかんセンターを開設致しました。東京都地域拠点型認知症疾患医療センターとしての活動も引き続き行っています。今年も地域の方々のご支援・ご指導のほどよろしくお願い致します。

脳神経内科部長兼東京都地域拠点型認知症疾患医療センター長 服部 英典

東京都地域拠点型認知症疾患医療センター
フリーダイヤル 0120-766-613



血液内科

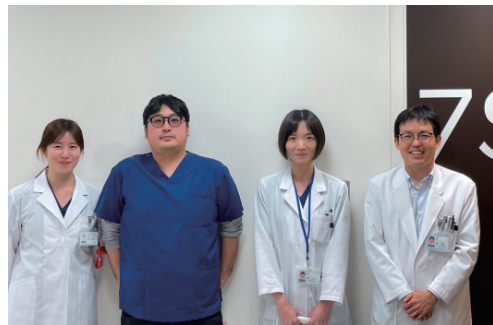
あけましておめでとうございます。連携医の先生方には大変お世話になり御礼申し上げます。

血液内科は現在、常勤医師4名、非常勤医師3名の体制で診療を行っております。引き続き地域の皆様のニーズにお応えできるよう、より安定した診療体制の確保に努めているところです。

血液内科診療の柱である抗がん化学療法においては、分子標的薬や抗体薬などの新規薬剤が次々と上市されており、当科でもこれらの薬剤を積極的に取り入れて、最新の治療を提供する体制を整えております。

本年もさらなる診療の質の向上と地域医療への貢献を目指して参りたいと存じますので、より一層のご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

血液内科医長 外山 高朗



糖尿病・内分泌代謝内科

あけましておめでとうございます。糖尿病・内分泌代謝内科は2023年4月より常勤スタッフが4名に増員となりました（矢島 賢、杉山和俊、黒川安晴、漆原裕記）。昨今の糖尿病治療薬の進歩に伴い、これまでの治療と大きく変化していることを考慮し、入院による血糖管理や薬物調整を行っておりますのでお気軽にご紹介いただけますと幸いです。また患者支援センターの開設に伴い、周術期血糖管理も積極的に行っておりますので手術を検討されている場合は当院にご紹介ください。加えて逆紹介にも力を入れておりますので先生方の医療機関へ受診された際は引き続き御加療のほどよろしくお願いいたします。ご相談、お困りのことがありましたら地域医療連携センターにご連絡ください。

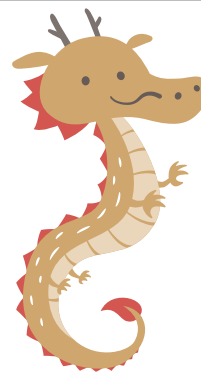
糖尿病・内分泌代謝内科医長 矢島 賢

腎臓内科・透析センター

腎臓内科

新年あけましておめでとうございます。

現在腎臓内科は、常勤医5名体制のもと診療を行っております（二木功治、篠塚圭祐、安田格、熊谷聡佑、小野田怜依（内科ローテーター））。当科では、「検診異常などを契機とした腎疾患の拾い上げ、診断ならびに加療」、「高血圧症・電解質異常の原因精査、加療」、「急性腎障害・慢性腎臓病症例に対する原因精査・加療」、「末期腎不全患者さんに対する腎代替療法の提示ならびに導入」など、あらゆる腎疾患を扱い精査加療を行っています。「立川CKDネットワーク」としての活動も継続しております。本年も引き続き、立川市ならびに周辺地域における腎臓診療の一翼を担うべく、努力していく所存であります。地域の先生方におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い致します。

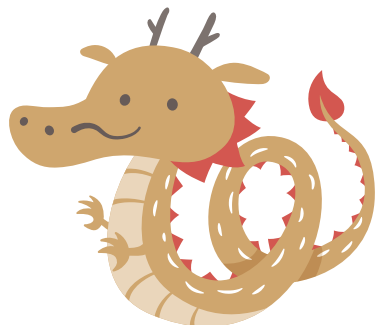


腎臓内科部長 二木 功治

透析センター

新年あけましておめでとうございます。

透析センターは、腎臓内科が中心となり、当院におけるすべての血液浄化療法管理を担っております。当院は日本透析医学会認定施設、ならびに日本腎臓学会研修施設として、医師・看護師・臨床工学技士の教育に積極的に取り組んでおります。外来ならびに入院全診療科患者さんの血液透析管理を行っています。血液透析以外にも、多様な疾患に対して血漿交換などをはじめとするアフエーシスを、他科と協力し扱います。腹膜透析の導入、管理も実施しております。エコーガイド下シャント血管拡張術も当科で実施し、当院導入の血液透析患者さんについて可能な範囲で、ブラッドアクセストラブルに対応しております。当院での入院を検討されている透析患者さま、合併症治療など急を要する患者さんなどおられましたら、ぜひ地域医療連携センターを経由の上、ご相談ください。



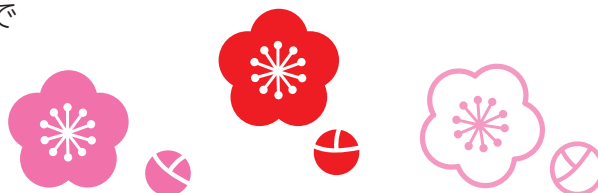
腎臓内科部長 二木 功治

膠原病・リウマチ内科

謹んで新春をお祝い申し上げます。旧年中はひとかたならぬ御厚情を賜り、暑く御礼申し上げます。

膠原病・リウマチ内科は、令和5年4月より今泉ちひろ医師（金曜日、非常勤）、川井雅敏医師（木曜日、非常勤）2名の体制で外来診療を行っています。大学病院勤務の専門医が診療を行っていますので、受診希望の患者さんがいらっしゃいましたら、地域医療連携センターまでご連絡いただければ幸いです。本年もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

内科統括部長 黄 英文



小児科

新年あけましておめでとうございます。

連携医の先生方には平素より大変お世話になり、また多くの患者さまをご紹介いただき心よりお礼申し上げます。

小児科は常勤医7名、非常勤医師8名の構成で一般外来に加えて、血液、神経、発達、アレルギー、内分泌代謝、循環器、呼吸器、腎臓、及び小児心理等の専門外来診療を行っています。外科的介入や高度専門医療の必要な患者さまについては都立小児総合医療センター、大学病院等の専門医療機関と連携しており、遅滞なく必要な医療を提供できるようにしています。

また、現在小児病棟では1月末までの予定で感染対策、療養環境の向上を目的とした個室化改修工事を行っています。工事中、入院中の患者さま、連携医の先生方にはご不便をおかけしておりますが、新しい病室を楽しみにお待ちしております。こどもたちや保護者が安心して入院生活を送れるよう努めて参りますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



小児科部長 水上 愛弓

血管外科

旧年中は、大変お世話になり誠にありがとうございました。血管外科は末梢動脈疾患、静脈疾患、リンパ還流障害に伴うリンパ浮腫、血液透析用内シャント作成などの診療を行なっています。新型コロナの拡大により病院への受診控えが生じ、特に下肢静脈瘤の方は受診を控えていたようでした。昨年後半からは感染の落ち着きとともに、多くの静脈瘤の方が受診されています。長年悩んでいた足のだるさや皮膚炎が術後すぐに改善し、大変喜ばれています。下肢静脈瘤手術は日帰り治療にも対応しております。これからも迅速かつ丁寧な診療を心がけてまいります。本年もよろしくお願い申し上げます。



血管外科部長 秋山 芳伸

乳腺外科

新年あけましておめでとうございます。立川病院乳腺外科は年間100件程度の乳癌手術をしています。乳癌の治療は標準治療に基づき、患者さん個々の状況に合わせてガイドラインに沿った形の治療方針を提示し、患者さんと十分に相談をしながら治療方針を決めています。また乳房温存手術が出来ない場合には、要望に応じ形成外科と協力しながら同時再建、二期的再建なども提案しています。治療中の患者さんの手術や抗癌剤、他の治療に対しての不安や恐怖を軽減出来るように心掛けながら診療にあたっています。乳腺外科を本年もよろしくお願い申し上げます。

乳腺外科部長 服部 裕昭

消化器外科

明けましておめでとうございます。

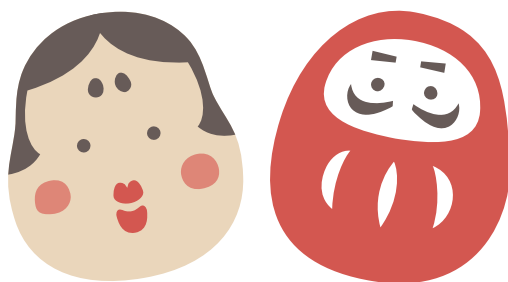
消化器外科は、常勤5名（専攻医1名を含む）の体制にて手術、抗がん剤治療、消化器内視鏡検査、ESDなどの内視鏡治療、救急対応を行っております。手術においては、良性疾患や早期がん症例はもちろん、進行がんに対しても腹腔鏡手術を積極的に採用しています。また、2022年秋から導入した大腸がんに対するロボット手術（ダビンチ手術）も順調に運用できており2023年11月で40例を超え、より緻密な手術を実践しています。

本年も根治性の高い手術かつ低侵襲な治療を患者さん個々に合わせて行っていきます。

また、鼠径ヘルニア・腹壁癒痕ヘルニア・胆石症などの良性疾患に対する腹腔鏡手術も積極的に行っていきます。患者さんから通院してよかった、地域の先生方から紹介してよかったと思っただけのよう一丸となって地域へ貢献していききたいと思っております。

本年もご支援・ご指導のほどよろしくお願い致します。

消化器外科部長 似鳥 修弘



呼吸器外科

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年も皆様のご支援により滞りなく医療を行うことができ、原発性肺癌や縦隔腫瘍、転移性肺腫瘍、胸壁腫瘍、気胸などの患者さんに、150例余の手術を実施することが出来ました。また、一昨年より導入したダビンチによるロボット手術も安定した実績を積み重ねており、現在までに90例余のロボット手術を実施することができました。

コロナ禍は克服しつつあるとは言え、患者さんやご家族、そして地域医療を支える皆様の並々ならぬご協力とご支援の賜物と心得ております。この場を借りて御礼申し上げます。

私どもは歩みを止めることなく、時代や技術の変化にしなやかに対応し、感染対策をはじめ、医療安全や患者さんのニーズに細かく気を配りながら、「常に前へ」をモットーに最善の医療を提供できるよう、引き続き努力してゆく所存です。

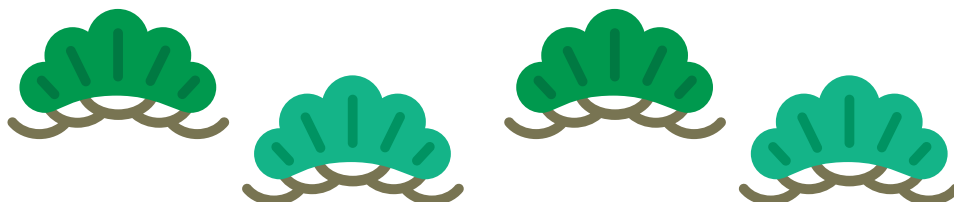
皆様のご多幸、ご活躍を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年も、引き続きご支援ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

呼吸器外科 山本 達也（部長）、木下 智成（医長）、杉野 巧祐（非常勤）、渡邊 真祥（非常勤）



左より渡邊、山本、木下



整形外科

新年おめでとうございます。『たちファースト1号』で報告しましたように、昨年8月より関医師を仲間に迎え足の外科医が2名となりました。多摩地域で足から足関節の疼痛、変形、外傷、腫瘍などの症例に速やかに対応できる体制となりました。一方、外傷受け入れから手術までの待機時間が長い問題や外傷を受け入れに制限がある問題はまだ解決中です。特に大腿骨近位部骨折例に対しては生命予後の観点から可能症例はガイドラインで推奨される48時間以内の手術治療を、目標としないといけません。手術部門、関連の検査部門、関係の内科医などに啓蒙を進めてきます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



整形外科部長 鈴木 禎寿

形成外科



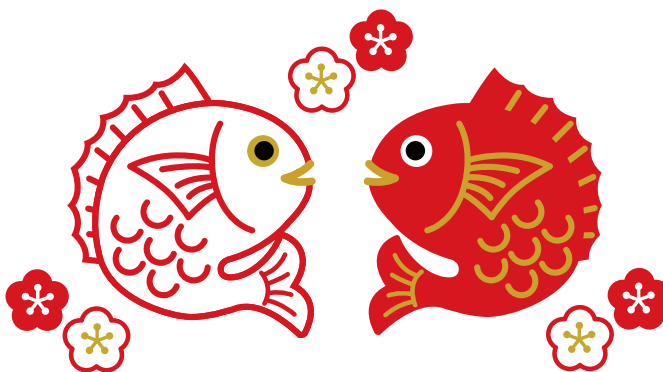
新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年もよろしくお願いいたします。

現在、形成外科は常勤医2名体制（濱田 茉梨子、福田 凌）で、全身麻酔、局所麻酔、外来診療を行っております。手術では、続発性リンパ浮腫（乳癌・子宮癌・卵巣癌・前立腺癌などの悪性腫瘍でリンパ節を切除したり、放射線治療でリンパの通り道がダメージを受けて生じる上肢や下肢の浮腫）、原発性リンパ浮腫（もともとリンパ管の機能が弱くて生じる四肢の浮腫）、まぶたの疾患（眼瞼下垂症や上眼瞼皮膚弛緩症、睫毛内反症、下眼瞼内反など）、乳房再建手術、その他の悪性腫瘍切除後の欠損部位に対する再建手術、良性腫瘍（脂肪腫など）、顔面骨骨折（鼻骨骨折、頬骨骨折、眼窩底骨折など）、合（多）趾症などを中心に積極的に行っております。受診希望の患者さんがいらっしゃいましたら、ご紹介のほど何卒

よろしくお願いいたします。

形成外科分野の対象疾患は多岐にわたります。外科的治療によりQOLの向上に貢献することを目的とし、患者さん一人一人の精神的負担の軽減や社会復帰を目指し、診療にあたります。

形成外科医長 濱田 茉梨子



リハビリテーション科



新年おめでとうございます。

当院リハビリテーション科は常勤リハ専門医1名とリハスタッフは理学療法士（PT）8名、作業療法士（OT）4名、言語聴覚士（ST）2名で日々リハ業務を行っています。外来診療では、脳卒中後遺症の上下肢痙縮に対する治療として装具作成やボツリヌス毒素注射の治療や様々な運動指導や呼吸リハなどに対応しています。嚥下障害の症状で嚥下評価の紹介を頂くことも増えています。入院患者さんに対しては、手術後や発症早期から安全面に配慮し迅速な介入を心がけています。スタッフの専門性を更に深めつつ全ての患者さんにとって有意義なリハ訓練を提供するよう引き続き努力する所存です。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

リハビリテーション科部長 黒川 真希子

眼科

新年明けましておめでとうございます。眼科は常勤4名で、外来は初診・再診各1名の2診の体制で診療にあたっております。現在、医師は内田敦郎（部長、網膜硝子体）、森川幹郎（医長、網膜硝子体）、野地将（専攻医、眼科一般）、横溝真由美（専攻医、眼科一般）です。手術は白内障、緑内障、網膜硝子体を中心に行っておりますが、昨年は過去最高となる850件以上の手術を無事に施行することができました。また硝子体内注射につきましても積極的に対応しております。近隣の先生方におかれましては、日頃から多くの患者さんをご紹介いただいておりますことを心より感謝申し上げます。ご紹介いただいた患者さんは経過が良ければ早期に逆紹介させていただきます。本年も患者さんを中心とした医療を心がけ、地域医療に貢献できるように当科スタッフ一同で努力してまいりますので、何卒よろしくようお願い申し上げます。



眼科部長 内田 敦郎

精神神経科

明けましておめでとうございます。

立川病院精神神経科の主な使命は、単科精神科病院等で発生した身体合併症の転院をお引き受けし、身体合併症治療中における重症精神疾患の入院管理を行うことです。都外の精神科病院からのご依頼も増えており、昨年は埼玉、山梨、茨城からのご依頼がありました。引き続きご期待に沿うよう運営に努めます。外来では、周産期メンタルヘルス外来、てんかん外来を運営しています。入院にあたって精神科病棟が必要な妊婦さんやてんかん患者さんを受け入れていく方針です。どうぞよろしくお願いいたします。

精神神経科部長 桑原 達郎



脳神経外科

あけましておめでとうございます。地域の先生方におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。当科では、昨年4月の私の赴任に伴い、てんかん手術を開始、10月にはてんかん・ニューロモデュレーションセンターを立ち上げました。12月までに4名のてんかん手術を実施しました。引き続き関係各科と連携し、地域のてんかん診療の底上げに尽力致します。また一般脳神経外科疾患についても、これまでと変わらず対応して参ります。地域の先生方に更なるご協力をお願いいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

脳神経外科部長

てんかん・ニューロモデュレーションセンター長 杉山 一郎



左：石原恵理子
右：杉山一郎

産婦人科

【慶賀光春】産婦人科では人数の問題がいつも悩ましいですが地域貢献を目指します。急ぎの場合は地域医療連携センターに直接ご連絡で依頼頂けると幸甚です。【ロボット手術・腹腔鏡手術】松田紀代子先生を中心に良性子宮全摘術や仙骨腔固定術、子宮体部悪性腫瘍手術を実施しています。【悪性腫瘍】手術放射線のみならず薬剤選択の遺伝学的検査もメンバーの遺伝専門医と協働しながら対応し、治療後の女性ヘルスケア支援アプローチも充実させます。【周産期】地域周産期センターの役割に応えながら、メンタルヘルスケア関連でも他科医師と多職種で質の高い支援を志しています。コロナ禍でかなわなかった立ち会い出産も増えてきました。産科食もパレスホテルの件は残念ですが栄養科の尽力でこれまでと変わらない豊富なアフタヌーンスイーツの提供を継続しています。【立川病院ブランド】の産婦人科チームを今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



産婦人科主任部長 平尾 薫丸

泌尿器科

新年あけましておめでとうございます。旧年中は連携医の皆様大変お世話になりました。

昨年は明瀬祐史、宮崎保匡、香久山裕史、井上洋介（～9月）、宮澤剛史（10月～）による常勤4名および水曜、金曜、土曜外来非常勤医師での体制で診療を行いました。

当科ではロボット（DaVinci Xi）支援下腹腔鏡手術を始め、結石治療や、前立腺肥大症治療など鋭意取り組んでおります。今後も地域の皆様に貢献できるよう努力いたしますので、何卒ご支援、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

泌尿器科部長 明瀬 祐史



手術中の宮澤剛史医師

皮膚科

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。当科は悪性腫瘍、重症・難治性疾患、緊急を要する感染症などの患者さんを多摩全域よりご紹介いただいております。4人の常勤体制で、手術、入院、外来診療にあたっています。初診の予約枠に限りがあるため、急を要する場合は事前にご連絡をいただければ幸いです。症状の落ち着いた患者さんの逆紹介も進めております。皮膚科領域の新規薬剤も積極的に取り入れておりますので、難治の患者さんがいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。



左より新谷悠花、稲積豊子、内川理紗、新川宏樹

皮膚科部長 稲積 豊子

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

新年あけましておめでとうございます。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科の常勤医は、本年1月現在、羽生昇部長（耳鼻咽喉科指導医、がん治療認定医、専門：腫瘍）、富永健裕医長（耳鼻咽喉科指導医、気管食道科専門医、専門：喉頭）、宗大貴医員、井手健太医員の4人体制となっております。

紹介予約制にご協力いただきありがとうございます。外来診療は、2～3診で行っており、甲状腺や頸部リンパ節のエコー下穿刺吸引細胞診、補聴器相談、身体障害認定（難聴）、好酸球性副鼻腔炎の指定難病にも対応しております。

手術は耳鼻咽喉科・頭頸部外科全般（口蓋扁桃摘出、鼻副鼻腔手術、耳下腺・顎下腺・甲状腺良性悪性腫瘍、咽喉頭内視鏡手術、声帯顕微鏡手術、鼓膜チューブ挿入術、舌咽喉頭癌手術）を扱っております。病診連携をさらに充実させ、患者さんの診療情報共有を図りたいと考えておりますので、本年もどうぞよろしくご指導をお願い申し上げます。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 部長 羽生 昇



放射線診断科

新年あけましてございます。

今年はCTと核医学装置が新しいものとなります。CTはキャノン製の320列“Aquillion One PRISM edition”が導入されます。16cmの範囲を1回転、0.3秒以下で撮影することができ、患者さんの動きに強い検査が可能です。またディープラーニング技術を利用した画像再構成技術を備え、これまで以上に低被ばく撮影を実現します。

核医学はGE社製“NM 830”が導入され、検査時間の短縮、画質向上が期待されます。

新しい機器で先生方のお役に立てるよう努めていきます。本年もよろしくお願いいたします。

放射線診断科部長 岡村 哲平

放射線治療科

あけましておめでとうございます。当科では、院内外からご紹介頂いたがん患者さんに対して放射線治療を行っています。放射線治療の特徴としては、いろいろな種類/進行具合のがんに効果が期待できる事と、体への負担が少なく従来通りの生活を続けながら治療を受けられる事などが挙げられます。昨年より常勤医2名体制となり、また治療専門技師も増員するなど体制を強化し、従来にも増して高精度な放射線治療（強度変調放射線治療）の提供に向けて部門をあげて準備を進めています。本年も、主治医の先生方と連携を図りながら、スタッフ一丸となって患者さんに最適ながん医療を提供していきたいと考えています。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



放射線治療科部長 沓木 章二

緩和ケア科

新年明けましておめでとうございます。昨年中は大変お世話になりました。緩和ケア科は緩和ケアチームとして活動しています。外来・入院ともに主科チームと連携し患者さん・ご家族の困りごとの解決のサポートをおこなっています。その他にも緩和ケアに関し研修や広報につとめています。新型コロナウイルス感染症拡大もやや落ち着き、緩和ケア研修会においては、参加者・講師ともに院外から招くことができ、実りある研修を行うことができました。また、来院の方が手書きのメッセージを貼り付けることができるホープツリーを含めた、ホスピス緩和ケア週間の展示を行うこともできました。今後も地域のみなさまと協働し緩和ケアの推進に努めてまいります。本年もよろしく宜しくお願い申し上げます。



緩和ケア科部長 秋山 芳伸

内視鏡科・内視鏡センター

新年の節目にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。2024年が皆様にとりまして、希望と繁栄に満ちた年でありますよう心からお祈り申し上げます。

国家公務員共済組合連合会立川病院の責務は常に患者さんの健康と幸福を最優先に考え、その信頼に応える事にあります。新たな年においても、内視鏡科/内視鏡センターは知識と技術の向上に勤め安心安全な内視鏡診療に全力を注ぎたいと考えております。

開業医の皆様、病院の医師・スタッフとの協力は、より高度な医療の実現と、病院理念である「質の高い、思いやりのある医療の実践」に向けての貴重なご支援であります。これからも知識と経験の共有を通じて地域医療の進歩に尽力する所存であります。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

内視鏡科部長 大森 泰

救急科

新年あけましておめでとうございます。

救急科は業務時間内（平日8：30～17：15、第2・4土曜日8：30～12：30）の救急車搬入患者および重症かつ緊急を要する救急患者の初期診療にあたっています。医療機関から専門治療目的で当院の地域医療連携センターにご紹介いただいた救急患者については、当該診療科の救急担当医を中心に診療しています。

本年もどうぞよろしく申し上げます。

救急科医長 上倉 英恵



歯科口腔外科

新年明けましておめでとうございます。

当院歯科口腔外科は常勤歯科医師（部長木津英樹、医長 白田 慎、長嶺宏樹、二宮真希）の4名、また非常勤歯科医師として慶應病院歯科口腔外科より派遣して頂いており、歯科衛生士は常勤5名で診療を行っております。

初診予約制となっております。当院外来予約センター（042-523-3856）で予約をとって受診して下さい。初診日には問診と検査、応急処置を行い、抜歯を含めた手術は予約となっております。なお緊急性がある場合には歯科口腔外科外来に直接お電話下さい。

当科は専門的に埋伏歯抜歯、歯根端切除術、インプラント治療、顎変形症手術を行っており、入院・全身麻酔による口腔外科手術を行っております。また随時短期入院（日帰りまたは1泊）で困難な抜歯や小手術、全身疾患を持った方や不安や痛み心配な方の手術を静脈鎮静下にて行っています。



近年、病院歯科口腔外科として周術期口腔ケアにも力を入れております。当院よりかかりつけ歯科や近隣の先生方に口腔ケアを依頼することもあるかとおもいます。その際にはご協力のほどお願い申し上げます。

今後も安全で安心な診療ができるようスタッフ一丸となり心がけて参りますので、どうぞよろしく願いいたします。

歯科口腔外科部長 木津 英樹



臨床・教育研修センター

新年あけましておめでとうございます。

当院では現在12名（基幹型10名、協力型2名）の初期研修医が研修に励んでおります。昨年8月に行われた2024年度採用初期研修医選考試験には52名の応募者があり9年連続でマッチング率100%となりました。研修にご協力頂いている地域の先生方には重ねて御礼申し上げます。当院の教育で「全人的医療を実践する力」「確固たる倫理観に基づき判断する力」「自ら学習と研鑽をつむ力」を修得させることが、研修医達のこれからの長い医師人生に多くの実りをもたらすものと信じ、社会の福祉ために貢献出来る人材を育成することを目標に、本年も努力してゆく所存ですので何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



臨床・教育研修センター長 森谷 和徳

報告

立川病院地域医療連携懇話会が開催されました

昨年11月21日(火) 19時より、パレスホテル立川において「第23回立川病院地域医療連携懇話会」が開催されましたので、報告させていただきます。

冒頭の片井病院長の挨拶では、12月4日に新設した患者支援センターの紹介も兼ねて、事前に撮影された同センターを会場内スクリーンに映し出しながら、当院にお送り頂く患者さんの受入れ体制が充実し、地域の医療連携が更に強化されることを説明いたしました。

続いて、来賓を代表して立川医師会会長 村上幸人先生にご挨拶と乾杯のご発声を頂くと、着座形式の会場の各テーブルには、フランス料理のコースが運ばれ始めるなか、来賓の先生方とこれから連携を強化される、令和5年度に新たに部長に昇任した9名の各診療科部長から挨拶がありました。

続く講演では、脳神経外科部長の杉山医師が「てんかん・ニューロモデュレーションセンターの立ち上げとてんかんの外科治療」について、呼吸器内科医長の船津医師が「呼吸器内科間質性肺炎専門外来について」について、それぞれ講演しました。

新型コロナウイルス感染拡大を経て4年ぶりに開催された懇話会は、過去最多の出席者170名（各市医師会会長を始めとする客員医員の先生やそのスタッフなど110名、当院職員60名）が「顔が見える挨拶」で行き来する、終始賑やかな2時間となりました。最後は、地域医療連携センター部長である秋山副院長より閉会の挨拶がされると、盛大な拍手のうちに、無事閉会となりました。



村上医師会長の乾杯ご発声

後日、メール配信により行われたアンケート調査でも、回答があった方々の9割から「良かった」との高評価を頂きました。併せて寄せられた貴重なご意見なども参考にしながら、次回は更に盛大な会になるように努めて参ります。

地域医療連携センター事務課長 佐藤 貴司



片井病院長の挨拶



ご要望などございましたら、地域医療連携センターまで
ご連絡をお願いいたします。

発行：令和6年1月1日（年6回）
発行者：立川病院地域医療連携センター
編集者：片井均、風間友子

国家公務員共済組合連合会 立川病院

〒190-8531 東京都立川市錦町4-2-22

TEL：042-523-3131 FAX：042-522-5784

ホームページアドレス：<http://www.tachikawa-hosp.gr.jp/index.html>

地域医療連携センター

TEL：042-524-2438

FAX：042-523-3160